

I 調査結果の概要

I - 1 国内事業所調査

1 食品の輸出入状況

(1) 食品の輸出状況

平成18年度の食品産業における国内産食品の輸出額は3,286億円で、このうち食品卸売業が2,663億円(81.0%)、食品製造業が621億円(18.9%)となっている。

また、輸出先をみると中国が32.4%と最も高くなっており、アジア地域では68.9%を占めている。

(2) 食品の輸入状況

ア 食品産業における食品の輸入額は4兆9,039億円で、このうち食品卸売業が4兆5,209億円(92.2%)となっている。

輸入先は、アジア地域からが37.2%(うち中国18.0%)となっている。

図1 食品輸出入の業種別割合(平成18年度)

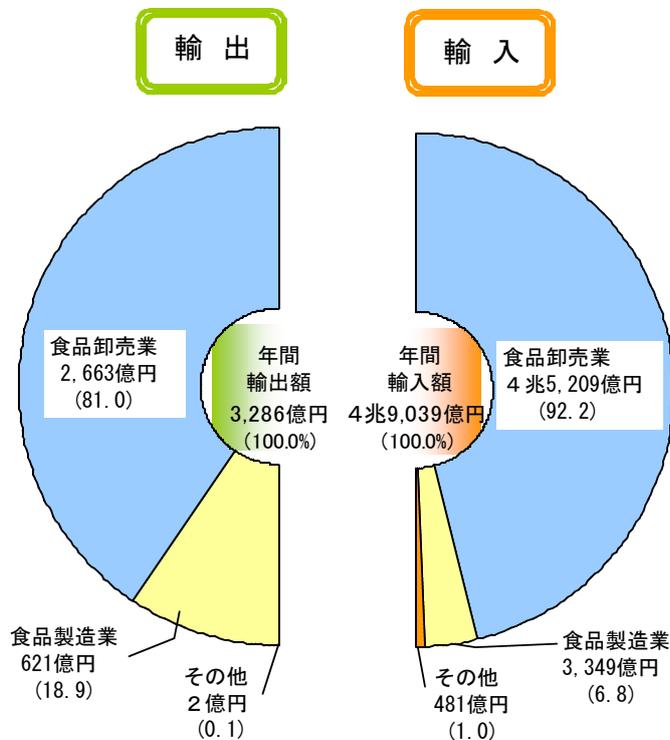
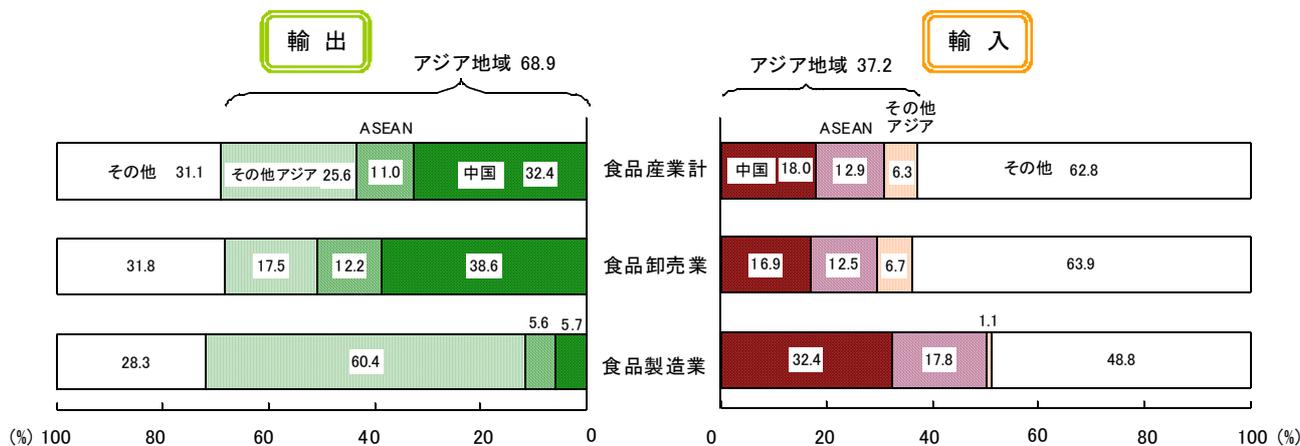


図2 業種別の輸出入先割合(平成18年度)



イ 輸入額を品目別にみると、加工食品が2兆4,385億円で全体の49.7%を占めており、次いで水産物が9,399億円（19.2%）、畜産物が7,450億円（15.2%）となっている。

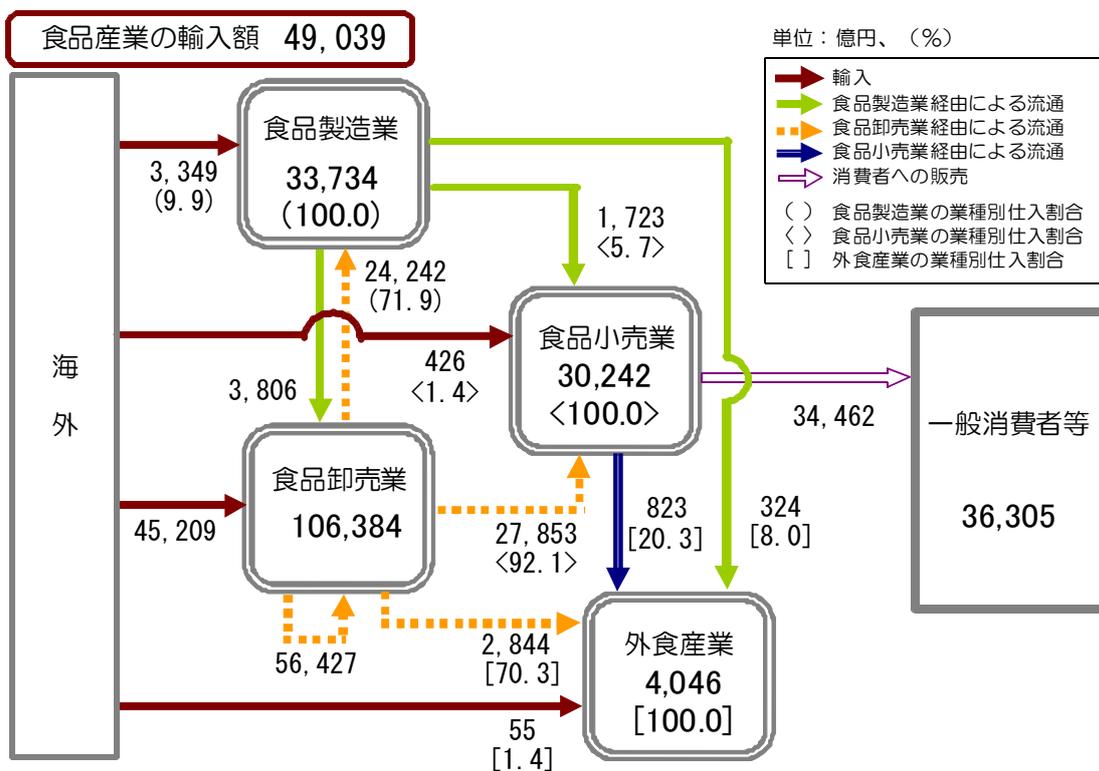
表1 食品産業の品目別輸入額

	食品計	精穀類	野菜	果実	水産物	畜産物	加工食品
食品産業計	49 039(100.0)	4 373(8.9)	1 739(3.5)	1 692(3.5)	9 399(19.2)	7 450(15.2)	24 385(49.7)
食品製造業	3 349(100.0)	152(4.5)	54(1.6)	-(-)	413(12.3)	524(15.6)	2 206(65.9)
食品卸売業	45 209(100.0)	4 221(9.3)	1 626(3.6)	1 652(3.7)	8 927(19.7)	6 803(15.0)	21 981(48.6)
食品小売業	426(100.0)	0(0.0)	50(11.7)	38(8.8)	47(11.0)	112(26.2)	180(42.2)
外食産業	55(100.0)	-(-)	9(16.6)	3(5.1)	12(22.5)	12(21.7)	19(34.1)

2 輸入食品の流通経路

業種別に輸入食品の仕入先別仕入額割合をみると、食品製造業、食品小売業、外食産業ともに食品卸売業からの仕入れがそれぞれ71.9%、92.1%、70.3%と最も高くなっている。

図3 輸入食品の主な流通経路(平成18年度)



- 注：1 □内の数値は、食品卸売業、食品製造業、食品小売業、外食産業における同業種間の流通を含む延べ仕入額である。
 なお、括弧内は仕入額（延べ仕入額）に対する割合である。
- 2 本調査では外食産業における消費者への販売額について、国内産、輸入食品別に把握していない。このため、消費者への販売額には外食産業分は含まれていない。
- 3 輸入農水畜産物を原材料として加工し出荷された加工食品は国内産食品とした。

3 食品（国内産、輸入）の仕入状況及び流通経路

(1) 食品（国内産、輸入）の仕入状況

食品産業における国内の生産者・集出荷団体等からの直接仕入及び海外からの輸入の合計額は17兆8,158億円で、このうち食品卸売業が12兆6,901億円と全体の71.2%を占めている。

また、業種別に国内産地からの仕入割合をみると、食品卸売業では64.4%となっているものの、他の業種では90%を上回っている。

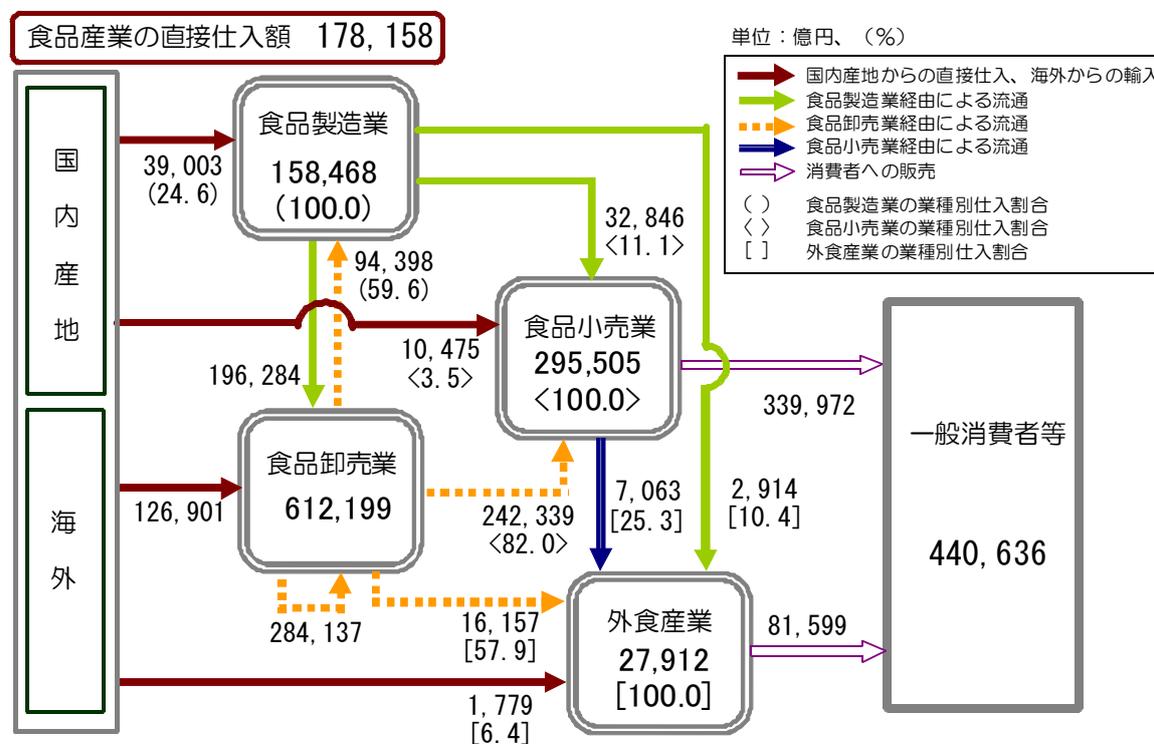
表2 食品産業の国内産地からの直接仕入額及び海外からの輸入額

	単位：億円、%				
	食品産業計	食品製造業	食品卸売業	食品小売業	外食産業
合計	178 158(100.0)	39 003(21.9)	126 901(71.2)	10 475(5.9)	1 779(1.0)
国内産地	129 119(100.0)	35 655(27.6)	81 692(63.3)	10 049(7.8)	1 723(1.3)
輸入	49 039(100.0)	3 349(6.8)	45 209(92.2)	426(0.9)	55(0.1)
国内産地仕入割合	72.5	91.4	64.4	95.9	96.9

(2) 食品（国内産、輸入）の流通経路

業種別に食品の仕入先別仕入額割合をみると、食品製造業、食品小売業、外食産業ともに食品卸売業からの仕入れがそれぞれ59.6%、82.0%、57.9%と最も高くなっている。

図4 食品の主な流通経路（平成18年度）



注：1 □内の数値は、食品卸売業、食品製造業、食品小売業、外食産業における同業種間での流通を含む延べ仕入額である。

なお、括弧内は仕入額（延べ仕入額）に対する割合である。

2 ここでいう国内産地からの仕入割合には、国内で栽培、採捕、生産された全ての食品を含む。

3 本図における食品産業の直接仕入額は、国内からの直接仕入及び海外からの輸入の合計額である。

4 輸入食品（精穀類、野菜、果実、水産物、畜産物、加工食品）の品目別輸入状況及び流通経路

(1) 精穀類

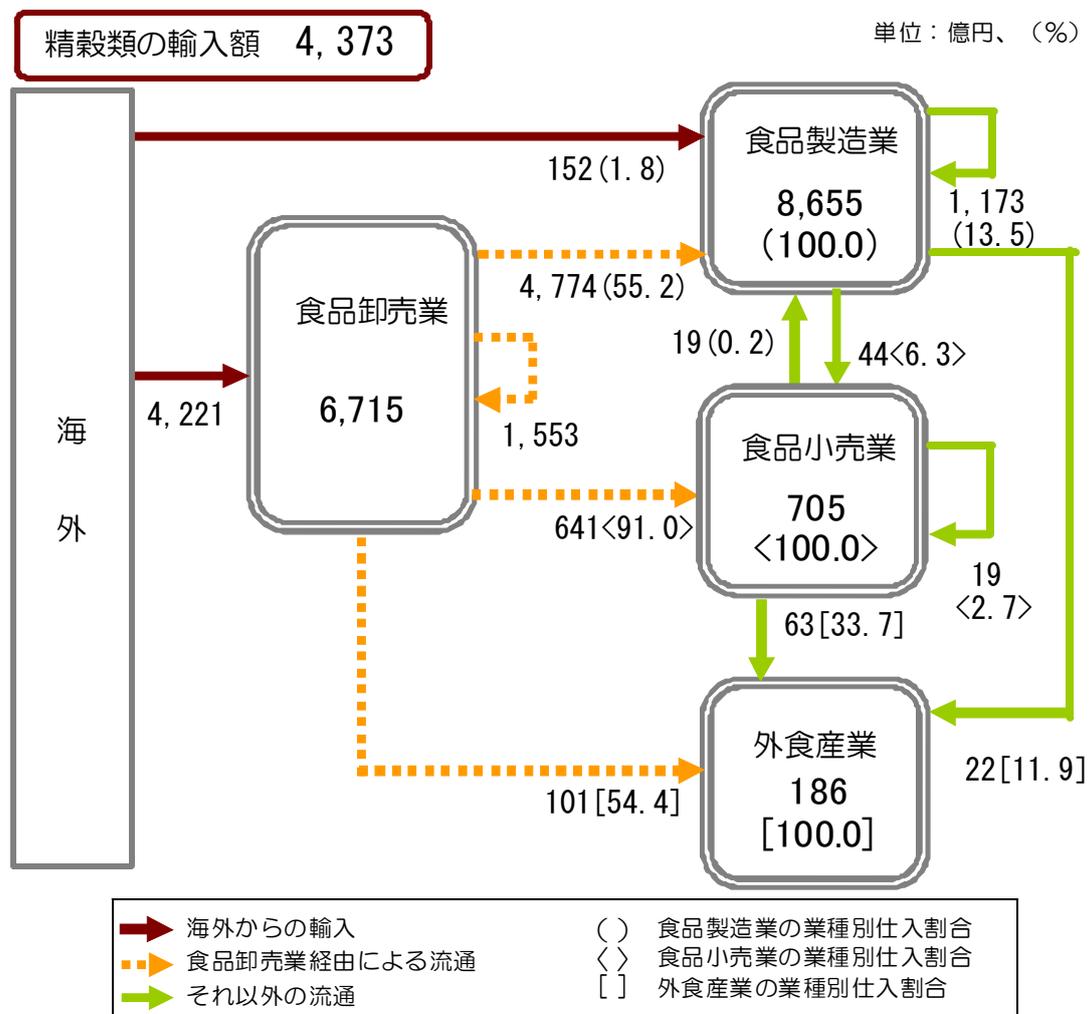
ア 輸入状況

食品産業における精穀類の輸入額は4,373億円で、このうち食品卸売業が4,221億円となっている。

イ 流通経路

業種別に輸入精穀類の仕入額をみると、食品製造業は8,655億円、食品小売業は705億円、外食産業は186億円で、食品卸売業からの仕入れがそれぞれ55.2%、91.0%、54.4%と最も高くなっている。

図5 輸入精穀類の主な流通経路別仕入額



注：1 □内の数値は、食品卸売業、食品製造業、食品小売業、外食産業における同業種間の流通を含む延べ仕入額である。

なお、括弧内は仕入額（延べ仕入額）に対する割合である。

2 上の図には、直接消費者へ流通するもの等は含んでいない。

(3) 果実

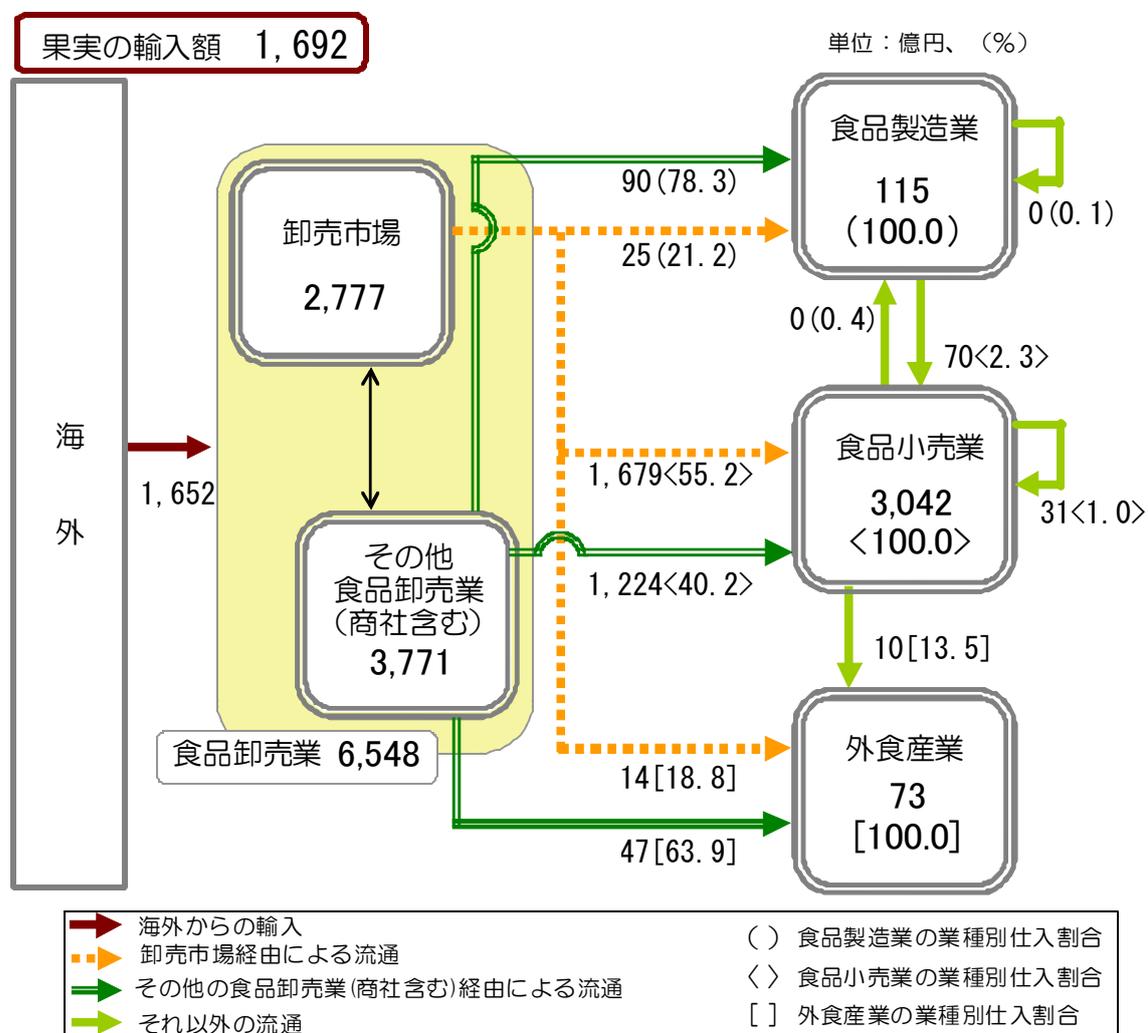
ア 輸入状況

食品産業における果実の輸入額は1,692億円で、このうち食品卸売業が1,652億円となっている。

イ 流通経路

業種別に輸入果実の仕入額をみると、食品製造業は115億円、外食産業は73億円で、その他食品卸売業（商社含む）からの仕入れがそれぞれ78.3%、63.9%と最も高くなっている。また、食品小売業は3,042億円で、卸売市場からの仕入れが55.2%と最も高くなっている。

図7 輸入果実の主な流通経路別仕入額



注：1 □内の数値は、卸売市場、その他食品卸売業（商社含む）、食品製造業、食品小売業、外食産業における同業種間の流通を含む延べ仕入額である。

なお、括弧内は仕入額（延べ仕入額）に対する割合である。また、食品小売業、外食産業の輸入額が極小のため除いており、割合の計が100%となっていない。

2 卸売市場の数値は、卸売市場内の卸売業者及び仲卸業者が仕入れた延べ仕入額である。

3 上の図には、直接消費者へ流通するもの等は含んでいない。

(4) 水産物

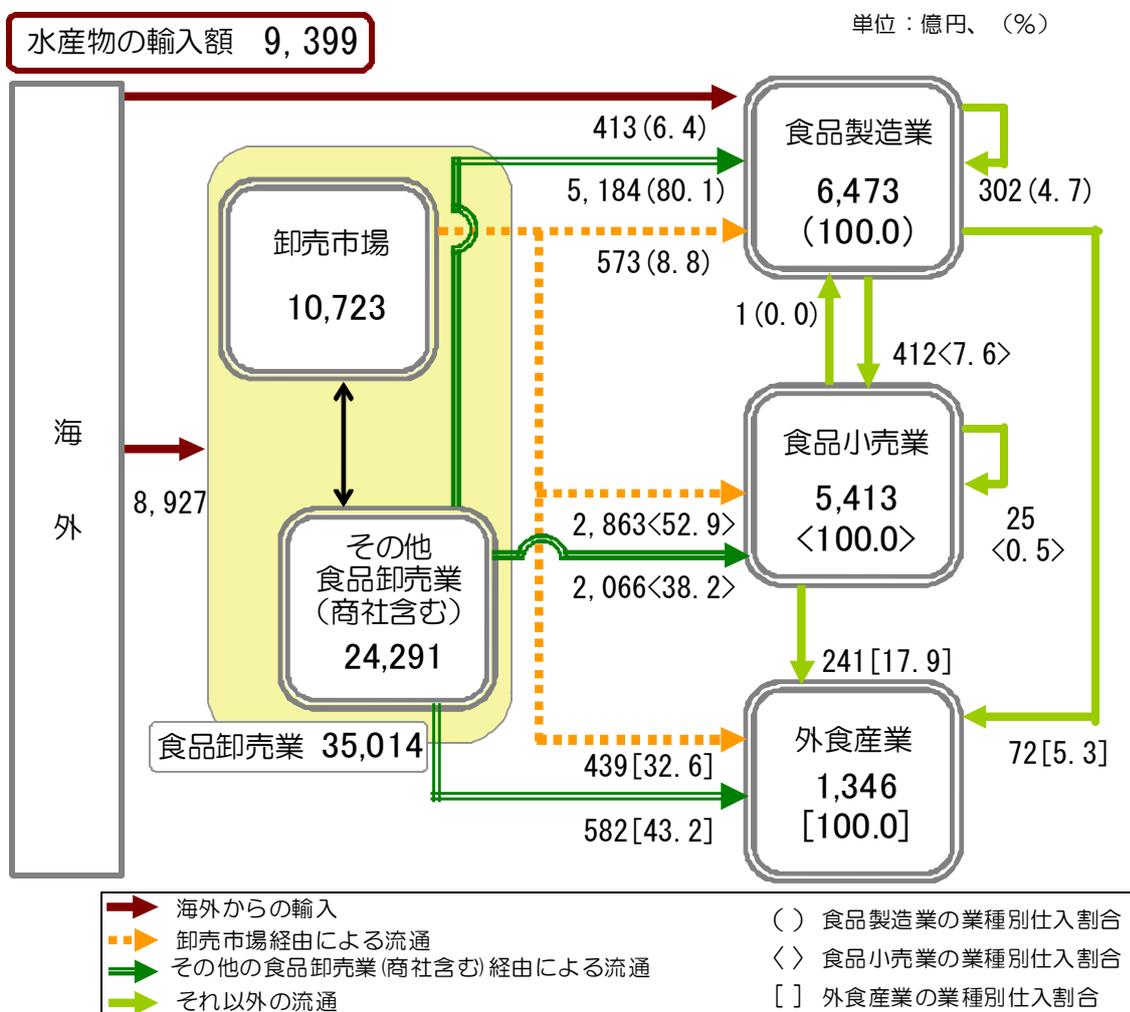
ア 輸入状況

食品産業における水産物の輸入額は9,399億円で、このうち食品卸売業が8,927億円となっている。

イ 流通経路

業種別に輸入水産物の仕入額をみると、食品製造業は6,473億円、外食産業は1,346億円で、その他食品卸売業（商社含む）からの仕入れがそれぞれ80.1%、43.2%と最も高くなっている。また、食品小売業は5,413億円で、卸売市場からの仕入れが52.9%と最も高くなっている。

図8 輸入水産物の主な流通経路別仕入額



注：1 □内の数値は、卸売市場、その他食品卸売業（商社含む）、食品製造業、食品小売業、外食産業における同業種間の流通を含む延べ仕入額である。

なお、括弧内は仕入額（延べ仕入額）に対する割合である。また、食品小売業、外食産業の輸入額が極小のため除いており、割合の計が100%となっていない。

2 卸売市場の数値は、卸売市場内の卸売業者及び仲卸業者が仕入れた延べ仕入額である。

3 上の図には、直接消費者へ流通するもの等は含んでいない。

(5) 畜産物

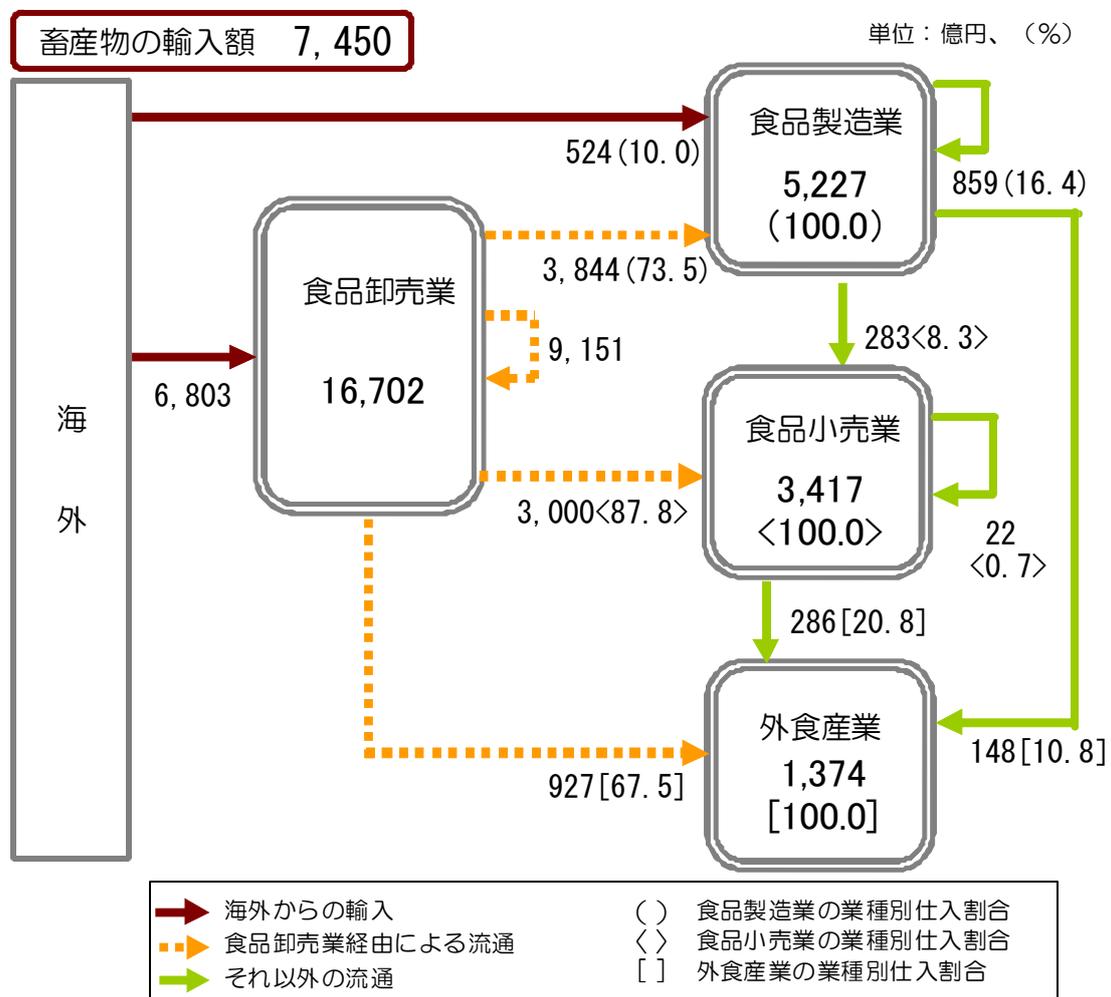
ア 輸入状況

食品産業における畜産物の輸入額は7,450億円で、このうち食品卸売業が6,803億円となっている。

イ 流通経路

業種別に輸入畜産物の仕入額をみると、食品製造業は5,227億円、食品小売業は3,417億円、外食産業は1,374億円で、食品卸売業からの仕入れがそれぞれ73.5%、87.8%、67.5%と最も高くなっている。

図9 輸入畜産物の主な流通経路別仕入額



(6) 加工食品

ア 輸入状況

食品産業における加工食品の輸入額は2兆4,385億円で、このうち食品卸売業が2兆1,981億円となっている。

イ 流通経路

業種別に輸入加工食品の仕入額をみると、食品製造業は1兆2,557億円、食品小売業は1兆6,464億円、外食産業は847億円で、その他食品卸売業（商社含む）からの仕入れがそれぞれ71.3%、90.2%、69.4%と最も高くなっている。

図10 輸入加工食品の主な流通経路別仕入額

